いわき震災伝承みらい館

原発事故からの復興を学ぶ企画展

原発事故によって放出された放射性物質の環境への影響と、その後の環境回復と環境創造への取組みや、放射線の基礎と特徴について、体験を通して学ぼう！

会　　場	いわき震災伝承みらい館
実施（展示）期間	令和３年 11 月 14 日（日）～12 月 12 日（日）

企画展示

国立環境研究所が開発した『3D ふくしま Lite』（福島県の 3D 地図上に、地理情報などの複数のテーマを、プロジェクションマッピングによって視覚化できる展示物）、コミュタン福島が所有する放射線の飛跡を見ることができる『霧箱』や放射線測定体験、パネル展示を通して、福島県の環境や、放射線の基礎について学ぶことができます。

展示期間　令和3年11月14日（日）～12月12日（日）

『3D ふくしま Lite』

提供：国立環境研究所

『霧　箱』

特別講話

※事前申込み制
裏面の申込書にてお申込みください

第１回

『環境創造センターの取組みとコミュタン福島について』

原発事故による環境への影響と、そこからの環境回復への取組み等についてお話しいただきます。

講師：福島県環境創造センター　総務企画部長兼企画課長　　鈴木 雄一 氏

『震災の伝承について』

ふくしまナラティブ・プレゼンテーションに参加した高校生が、震災について想いを語ります。

日時：令和3年11月14日（日）10:30～11:30

第２回

『放射性物質の環境中における移行挙動について』

原発事故によって放出された放射性物質が、環境中でどのように移動してきているのか、分かりやすくお話しいただきます。

講師：福島県環境アドバイザー　　飯島 和毅 氏

日時：令和3年11月 28 日（日）10:30～11:30

出張 コミュタンラボ

実験を通して、放射線のこと、環境のことについて知ろう！

第１回　令和3年11月14日（日）14:00～16:00
『ペットボトルで霧箱を作ろう』
『身の周りの放射線を測定してみよう』

第２回　令和3年12月12日（日）10:00～16:00
『ペットボトルで霧箱を作ろう』
『放射線から身を守る方法について学ぼう』
『紫外線で色が変わるアクセサリーを作ろう（UV ビーズ）』

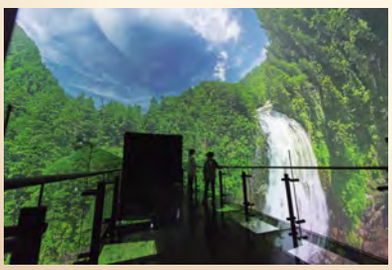
【お問合せ先】　いわき震災伝承みらい館　TEL：0246-38-4894
協　力　：　福島県環境創造センター

コミュタン福島とは？

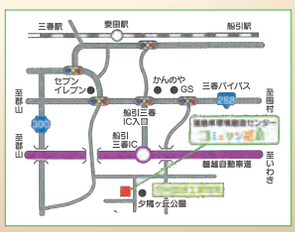
福島県環境創造センター交流棟**「コミュタン福島」**では、放射線の基礎知識や福島の環境についての展示物を見て、触れて、スタッフと対話をして分かりやすく学ぶことができます。

展示物の中には、地球温暖化やSDGsへの理解を深めることができる「触れる地球」や、日本に2つしかない大迫力の全球型ドームシアターがあり、子供から大人まで楽しく学べる施設です。

「触れる地球」



「環境創造シアター」
（全球型ドームシアター）



福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
〒963-7700
福島県田村郡三春町深作10番2号
（田村西部工業団地内）
TEL　0247-61-5721
FAX　0247-61-5727

【FAX：0246-38-4895】

企画展 特別講話 参加申込書

各回 30名（先着順）

必要事項をご記入の上、お申し込みください。

【講話１（第１回）】11月14日（日）実施（申込締切 11月10日（水））
【講話２（第２回）】11月28日（日）実施（申込締切 11月24日（水））

ふりがな	
代表者氏名	
参加人数	【講話１】＿＿＿＿＿＿ 名 【講話２】＿＿＿＿＿＿ 名
連絡先 （携帯電話番号）	
特記事項	

※ 申込みは、Eメールでも結構です。
E-mail　：　shinsaidenshomiraikan@city.iwaki.lg.jp
住 所　：　〒970-0229　福島県いわき市薄磯三丁目11